



Blue and White 1986-95年 アクリル、アルミニウム、カンバス

2024.11.30 - 2025.3.29

夢の中へ

Part2

開館日 毎週火曜日、木曜日、土曜日
開館時間 10:00 - 16:00
◇一般入館料 1,000円 (高校生以下は無料)
◇ドリームフレンズ会員は無料、同伴者1名に限り500円

★下記の土曜日(午後1時から2時頃まで)は、川島猛が展示室にいます。
(ただし、都合により時間が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。)
11月30日(初日)、12月21日、2025.3月29日(最終日)

Takeshi Kawashima
Art Factory
Museum
**川島猛アートファクトリー
ミュージアム**
〒761-8001 香川県高松市亀水町1411





Dream Land コスモス 1992年 アクリル、カンバス

記憶と夢想のはざまにて

人を含む多くの哺乳類は夢を見erると言います。そもそも夢とは、過去の経験とその記憶に基づいて、現実が存在する場面や人物を無作為に登場させて架空の物語を無意識に脳内に作り出すものと定義されています。朝、目が覚めると思いもよらない夢の内容に“なんだ夢だったのか”と安堵した経験もあるのではないのでしょうか。夢は現実と理想の間に潜む不運を、未然に予見してくれる場合があったりします。

川島猛の長い画歴のなかで Blue and White シリーズや Dream Land シリーズなど特徴的な領域の絵画を誕生させてきました。川島の絵画理念には、一貫して色彩と空間が織

りなす創造世界が広がり、それはあたかも夢を見ているかのような幻想的な空気感を伴っています。

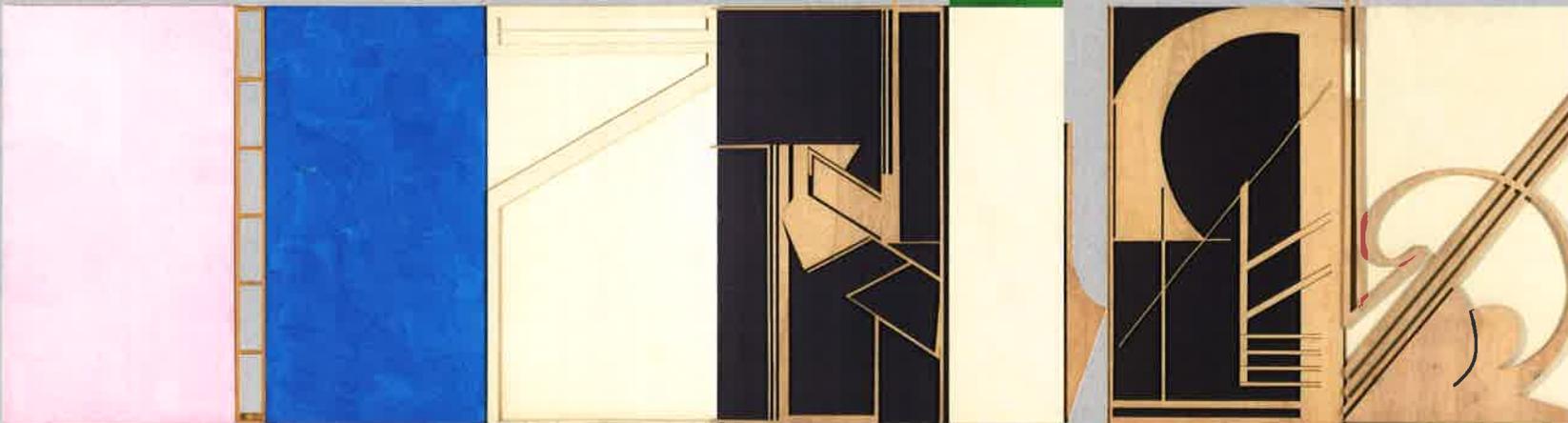
私たちは川島の夢の中に身を委ねることで、現実を直視し、理想とのギャップに触れる一つの機会となり得るのです。ただ、必ずしも作品は理想像を示しているわけではありません。作品と対峙し、どう読み解くのかについては、人それぞれの体験に基づくもので、潜在的に備わる楽観あるいは怖れの感情に誘発される無意識の表象が夢を見erるという行為に擬似的に具体化されると想像できるのです。

この展覧会では、夢と表象という相反するものに主題を見er出そうとする川島猛の作品の数々を紹介しmaす。



Blue and White 1993年頃
アクリル、アルミニウム、カンバス

無意識の領域と表象



N.Y. 1981-J.T.43. 1980-81 油彩、アクリル、木、カンバス

夢の中へ
part2



宇宙華舞 2017年 マーカー、カンバス



Dream Land - with her 1988年 アクリル、油彩、木、カンバス

公益財団法人 川島猛アートファクトリー
〒761-8001 香川県高松市亀水町 1411
TEL 087-802-6888
FAX 087-802-2689
<https://kawashima-af.com>



彫刻の広場「WHY BORN SQUARE」

